

日 時： 30年8月 19日 (日)

参 加：岡本、大西、佐々木、嶋原 桜井、高石、古川、宮本 (L記)

涼を求めて竜鎮溪谷へ、一本先の電車で出発するが、気が付くと名張駅と案内、反対ホームの電車で飛び乗る。皆さん室生大野口駅で集合しておられました。迷惑をお掛けしました。駅の改札口で観光案内の方が大野寺通りは、災害で通行止め区間との事、案内図を見て9時10分出発です。「室生中学校方面」に迂回して室生ダム9時40分ダム湖にそって進む竜鎮橋を渡った直ぐに竜鎮溪谷の入り口の標識があり竜鎮溪谷へ、溪谷沿いを5分程進むと、竜鎮神社が見えてきました。鳥居をくぐり河原に下ると鳥居と社が祭られていました。竜が潜んでいると言われる竜鎮神社竜鎮の滝の滑らかな岩から流れ落ちる神秘的なエメラルドグリンの滝壺が清らかな水流です。お参りして先に進みます10時8分深谷川沿いの林道を、川を見ながら緩やかに歩を進めて行きます。木陰で体感温度も高くないように感じ快適です。川の水が透き通って小魚も沢山泳いでいます。石がゴロゴロ沢筋の道を進みます。水が少なく渡渉も終わり、少し登ると平坦な林道歩きます。「東屋」、11時50分着それまで人っ子、一人すれ違う事もなかったので到着すると、東屋で出会ったのは一組の御夫婦だけ、ゆっくりと食事を楽しんで12時40分出発。仏隆寺から室生寺に抜ける林道歩きです。衣掛けの松、腰折れ地蔵にお参りして、歩を進めて行きます。枝垂れ桜のある西光寺に立ち寄り、城之山桜(枝垂れ桜樹齢300年と)書いてありました。ものの見事な桜の大木です。のどかな田園風景を眺めながら民家の横を下り室生寺到着です。13時40分、私たち4人は室生寺へ、後の4人は門前町の前で待とのこと、私は、久ぶりに室生寺へ金堂を拝観し修復された五重の塔見て室生山の奥の院へ700段の階段元気に登れました。参拝して下りは、早いです。到着14時30分バスは出た後で、タクシーで大野寺分岐迄乗車、タクシーの運転手から食堂を聞き今日の反省会をして。帰りは迂回せず大野駅に向かう、大野寺前、川を挟んで対岸の弥勒磨崖大石仏を拝顔して、16時20分室生大野駅近鉄電車で、岡本さん。桜井さんと途中でお別れしました。鶴橋で二次会して解散となりました。今日は、暑い中参加して頂き有難う御座いました。



左から竜鎮の滝、室生辺り、室生寺前で